

村尾 徹士 (むらお てつし)

2010年度 COE フェロー

連絡先: ed064003 [at] g.hit-u.ac.jp, tetsushi.murao1214 [at] gmail.com * [at]を@に変えてください。

専攻分野: マクロ・労働経済学、応用計量経済学、応用計算経済学

研究テーマ: 効率的な労働配分とマクロ・労働市場政策の影響

不完全な労働・資本市場のもとでの生産性の実証分析

博士学位請求論文題目 (予定): 「異質的労働者とサーチフリクションの存在する労働市場の分析」

学歴

2004年3月 横浜国立大学経済学部卒業、学士(経済学)

2004年4月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学

2006年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了(経済学)

2006年3月 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程入学

職歴

2006年4月～2006年8月

一橋大学大学院経済学研究科 TA (堀一三講師、中級マクロ経済学)

2007年4月～2007年8月

一橋大学大学院経済学研究科 TA (塩路悦朗准教授、中級マクロ経済学)

2008年9月～2009年3月

一橋大学グローバル COE 「社会科学の統計的分析拠点」 RA (北村行伸教授)

2008年10月～2010年3月

成城大学経済学部非常勤講師 (「経済学演習 I」、「経済学演習 II」)

2009年4月～2010年3月

近未来課題解決事業 RA (川口大司准教授、神林龍准教授)

2010年4月～現在

一橋大学グローバル COE 「社会科学の統計的分析拠点」 COE フェロー (川口大司准教授)

研究業績

(査読付き・論文)

[1] 北村行伸・西脇雅人・村尾徹士、「不完全資本市場下での生産関数の推定について」、『経済研究』第60巻第3号、2009年7月、pp193-204 (Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series 070、2009年5月)。

[2] 川口大司・村尾徹士、「年齢階層別失業率変動の国際比較」、『経済研究』第61巻第2号、2010年4月、pp154-167。

(その他査読の無い解説など)

[1] 村尾徹士、「労働時間の趨勢と変動—労働ウェッジによる理解の試み」、『日本労働研究雑誌』(論文 Today)、2009年7月、pp98-99。

研究報告 (報告者に○)

(事前審査あり)

[1] 北村行伸・西脇雅人・村尾徹士、「不完全資本市場下の生産性の推定と退出分析への応用」、日本経済学会 2009年度春季大会、京都大学(京都府京都市)、2009年6月。口頭報告。

[2] 村尾徹士、「途上国におけるインフレーションと労働移動。不完備市場二重経済モデルによる分析」、日本経済学会 2009年度秋季大会、専修大学(神奈川県川崎市)、2009年10月。ポスター報告。

[3] 村尾徹士、「長期フィリップス曲線におけるインフォーマルセクター雇用の役割」、第2回冬季マクロ経済学研究会、琵琶湖リゾートクラブ(滋賀県守山市)、2010年2月。口頭報告。

(事前審査なし)

- [1] ○村尾徹士、「途上国におけるインフレーションと労働移動。不完備市場二重経済モデルによる分析」、関西学院大学経済学ワークショップ、関西学院大学（兵庫県西宮市）、2009年3月。口頭報告。
- [2] ○北村行伸・○西脇雅人・○村尾徹士、「不完全資本市場下での生産関数の推定について」、一橋大学経済研究所定例研究会、一橋大学、2009年3月。口頭報告。
- [3] ○川口大司・村尾徹士、「年代別失業率の国際比較」、一橋大学経済研究所定例研究会、2009年12月。口頭報告。

その他特記事項

2004年3月 第21回横浜国立大学経済学会賞（本行賞）優秀賞受賞

照会先

黒崎卓（一橋大学経済研究所教授）、川口大司（一橋大学大学院経済学研究科准教授）